



ROTARY INTERNATIONAL

# OITA JOSAI ROTARY CLUB

国際ロータリー第2720地区  
大分城西ロータリークラブ  
〒870-0022 大分市府内町トキハ会館4階  
PHONE 532-0611 FAX 532-8386

## 週報

例会日 毎週水曜日 P.M.12:30~13:30  
例会場 大分西鉄グランドホテル  
会長 廣瀬 舜一  
幹事 工藤 隆  
会報委員長 杉岡 秀紀



「高崎山」'97

寺司勝次郎

WEB URL <http://gloweb.chiikikagaku.co.jp/rotary>

1998~1999

第48回例会 6月30日 No.440

会長 廣 瀬 舜 一

今期会長を拝命させていただくことになりました廣瀬舜一です。トラ年の年男で還暦が秒読みの年令ですが、これは会計学という簿価です。

今はグローバルスタンダードの時代ですので時価評価しますと肉体年令49才、精神年令39才、気持年令29才、新婚ホヤホヤと申したいのですが、これはチョット言い過ぎでおわびして訂正させていただきます。

さて2720地区一のすばらしい会長が佐々木先生、清水先生と続いた後の会長ということで大変気後れいたしますが、私の取り得である真面目さ（これしかないのですが）で勝負したいと思います。

佐々木先生のように文学の香り高いお話しや清水先生の医学に関連した人生の笑いとウェットに富んだお話しにはならないと思いますが、この一年間大分のどのクラブの会長にも敗けないよう、そして城西をよいクラブにしていこう精一杯努力してゆく気持だけは誰にも敗けないつもりでおります。

皆様よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

会長になって一番困るのはロータリーでコックリコックリと居眠りができないことです。この一年間は両眼に妻楊枝をはさんでおこうと思います。

逆に良いことは副会長にユーモア溢れる

永富先生、幹事に税金と計算に強い工藤先生副幹事にグランドデザイン描かせればこの人の右に出る人はいない浅井先生等、見識と実行力に富んだトップキャビネットが会長を支えてくれることです。全員一丸となって、このロータリー不況を乗り切って行きます。

又、私もロータリーの会長をやったので売上と利益が減ったと言われたいよう経営の方もしっかりやっておかないと世間様から何を言われるかわかったものではありません。

芸術家やスポーツ選手、サラリーマンの方には「元〇〇」というのが何歳になっても通用しますが、経営者という職業だけは「元〇〇」が全く通用しないからです。結果によって理屈が後から付けられる職業です。

つまり同じことをやっても結果が良いと良く言われ、悪いと悪く言われます。おまけに過去の蓄積はおろか、将来まで担保に取られているわけですので、失敗しても責任追求がなされない公務員等と違って毎日大変緊張した日々を送っています。

ところで、ロータリークラブにはどんなイメージを持っているかと会員以外の人に聞いてみますとロータリーの目的である奉仕団体というよりは高級社交クラブといった感じが強いようで一応の成功者や金持が集ったワイワイガヤガヤ集団のようでございます。

ですから一言言っておきました。ロータリーのメンバー、特に私などは金持どころか借金持ちでございまして、特に昨今のように土地価格が下落しますと借金の重さは何倍にも感じられます。借金も甲斐性の内などと言わ

れていた昔がつかいにくくなります。

これからの企業は借入金による経営から本来の姿であるCash Flowの枠内での投資と少し出店のベースを落しております。

このようなわけで、やはり本来の姿である奉仕ということを再度見直してみる年にしてみたいと思っております。

同時に奉仕を通して今、日本人に一番欠けている「気概」ということについて考えてみたい。

「これを知るものはこれを行うものにしかず、これを行うものはこれを楽しむものにしかず」と論語にもありますので、少し固くなりましたが、このようなことをベースに今年も明るく楽しくやりましょう。

## ご あ い さ つ

幹事 工 藤 隆

本年度、幹事をつとめさせていただくことになりました。役目の重大さに身のひきしまる思いがしております。

ロータリーはまず親睦ありきといわれます。会員の皆様が例会はもちろんのこと、各種の親睦活動、IM、地区大会等、ロータリーの行事に積極的に参加し、会員間の親睦がより深まるよう幹事として努力したいと思えます。

また、当クラブの会員数は現在33名ですが、クラブの各奉仕活動をいきいきと行うためには、会員増強がどうしても必要です。

この会員増強とより深い親睦があってこそ廣瀬会長のテーマである日本人の気概を示しRI会長、東ガバナーのテーマであるロータリーの夢を追い続けることができるものと信じます。大分市内で最も若いロータリークラブであり、現在のところ最も会員数の少ない当クラブではありますが、創立以来の明るくさわやかな大分城西ロータリークラブの伝統をさらに発展させていこうではありませんか。

どうか会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。